

令和6年度第4回 長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

【開催日時】 令和6年11月8日（金） 10時00分～12時00分

【開催場所】 長野市役所第二庁舎8階 282会議室

【出席者】 審議会委員 13名

事務局 長野市上下水道局 18名

【公開区分】 公開

【議 事】

（報告事項）

（1）水道事業広域化について

事務局から説明

質疑応答：なし

（議事事項）

（1）水道ビジョン・水道事業経営戦略の改定（素案）及び水道料金について

事務局から説明（前回資料の修正について）

質疑応答

○ 会長

・前回資料の修正について、承認してよろしいか。

（承認）

事務局から説明（今回の資料について）

質疑応答

○ 委員

・広域化事業に関する論点の中で、長期的な視点ではあるが、使用する側、人口が減っていく中このままでもいいのだろうかという思いはある。

○ 事務局

・広域化することによって、将来を見据えた設備投資やダウンサイジングにつなげていきたいと考えている。社会情勢も変わっていくため、しっかりと企業経営を続けていくことが必要と考えている。

○ 委員

・次の料金見直しの際には、広域化の取組が順調にいけば、企業団の会計となるのか。

○ 事務局

・料金については、順次見直しを行うものであるが、企業団が設立された場合には、企業団として今後料金を考えていくこととなり、見直しを続けていくという形になる。

現在、基本計画（素案）を作り、皆さんから御意見・御質問を募っているところ。これを受けたもので関係自治体の合意ができれば、2年から3年後には企業団に移行する。

委員から御質問があったとおり、次回の算定期間は、長野市水道事業から企業団の水道事業に変わっているのではないかと考えている。

○ 委員

・企業団として統合するときに、会計も全部統合されるということか。そうすると、内部留保資金や企業債残高も企業団の方に移行されるということか。

○ 事務局

・一つの企業団として計算される。

○ 委員

・基本的にこの案でいいと思うが、下水道についても触れておいてほしい。

長野市は多分対応できるぐらいの資金も確保できると思うが、企業団という形になった時に、下水道はどうなるのかということは、市民の皆さんも当然心配すると思う。もう少し触れておいてもらいたい。

○ 事務局

・おっしゃる通りであり、どのような形でやっていくか構成団体と研究を続けていきたい。

○ 委員

・基本計画の合意後、2～3年を目途に企業団の設立を目指すところがあるが、膨大な事業費を抱えることとなる。もっと早くにできないのか。

○ 事務局

・全国の類似事例を見るとおよそこのくらいの期間がかかっている、御意見として承る。

○ 会長

・今ここで長野市が料金を上げるということは難しいが、将来の世代が高額な水道料金になっていいのかということは、一つ論点として答申に添えた方がいいと考えている。

間接的には値上げをしろというメッセージになるかもしれないが、将来世代と、現役世代との間で負担をどうしなければならないのかということは今後検討する必要があるということだけは、答申の中に触れていただいた方がいいと思う。

○ 委員

・広域化がその目的を果たすということも言えると思う。

○ 会長

・広域化がどのように実現していくかというところを今は見極めなければいけないところだと思う、具体的な議論は次回の見直しの際に行われることになるかと思うが、課題としてはそういうことがあるということは、答申の中に触れていきたい。

○ 委員

・広域化に関連して、市民にとって、どのようなメリットがあるのか、具体例みたいなものを示していただきたい。

○ 事務局

・これから市民説明会等で丁寧に説明していきたい。

○ 会長

・ご議論いただいた素案について、答申の案として次回審議会で提案すること、料金の見直しについては、今回はそのまま据え置きとする、ということで答申案を作成することを御承認いただいたということによってよろしいか。

それではこれまで皆様からいただいた御意見も踏まえて、次回の審議会で答申案として事務局の案をお示しいただきたい。